

北犬飼地区

人口	男	4,708人	女	4,602人	計	9,310人	世帯数	3,601世帯
----	---	--------	---	--------	---	--------	-----	---------

※人口、世帯数は令和4年1月1日時点

≪事業概要【分野】と主な支出内容≫

① 安全安心なまちづくり事業【防犯・交通安全】

防犯ちらし(グッズ)の配付、防犯クイズキャンペーンの実施、交通安全活動備品の購入通学路上の防犯灯設置、主要道路の防犯カメラの設置など。

防犯啓発ちらし・グッズ(2,600部)、防犯クイズキャンペーンちらし・賞品、交通安全活動ベスト・ジャンパー(70着)、交通安全立て看板(79個)、LED防犯灯(6基)、防犯カメラ(3基)など

② 地域交流活動支援事業【イベント】

地域の2大イベントである「ふれあい祭」「マス釣り大会」の備品を購入することにより、地域の交流活動の支援を行う。

(令和2・3年度は、新型コロナウイルスの影響により開催できなかった。)

テント(4張)、アルミテーブル(26台)展示パネル(15枚)、焼きそば調理設備(1台)など

③ 学校と地域の交流応援事業【お囃子活動】

地域の3小学校(石川小・池ノ森小・津田小)において、櫓やお囃子の篠笛・締太鼓などの備品を購入することにより、地域住民から指導をうけている“お囃子”の活動強化など学校と地域の交流を支援する。

盆踊り櫓(1基)、篠笛(25本)、締太鼓(2台)など

④ 地域助け合い事業【行方不明者捜索・弁当配達】

地区の老人クラブが中心となり、行方不明者初期捜索をするための組織「地域を守る絆の会」を構築するため、反射ベスト、懐中電灯などの必要備品を購入する。

また、一人暮らしなどの高齢者に衛生的にお弁当配達し、安否確認や交流を行うために、アルミ飯缶を購入する。

反射ベスト(50着)、赤色誘導棒(50本)、懐中電灯(50個)、アルミ飯缶(10個)など

⑤ 地域資源活用事業【里山整備・カレンダー作製】

里山林整備事業として、「津田の里山を育てる会」を組織し、約2.8ヘクタールの荒れた山林を地域の人々の憩いの場となるように整備するため、自走式草刈り機やウィンチ、コンテナ等の備品を購入する。

また、北犬飼地区コミュニティ推進協議会において、“北犬飼地区いいところ再発見カレンダー”フォトコンテストを開催し、地域資源を被写体とした写真を募集し、カレンダーにすることによって地域のPRを行う。

自走式草刈り機(1台)、ウィンチ(1台)、コンテナ(1台)、プロワー(1台)、「北犬飼地区いいところ再発見カレンダー」作製(2,800部)など

《収支決算》

【収入(円)】

費目	H29	H30	H31/R1	R2	R3	計
地域の夢補助金	—	—	1,039,350	4,487,500	4,774,760	10,301,610
その他補助金	—	—	0	0	0	0
自己資金	—	—	0	4,555	21,651	26,206
計	—	—	1,039,350	4,492,055	4,796,411	10,327,816

【支出(円)】

事業 No	H29	H30	H31/R1	R2	R3	計
事業①	—	—	1,039,350	1,717,578	2,200,022	4,956,950
事業②	—	—	—	1,831,965	0	1,831,965
事業③	—	—	—	942,512	250,000	1,192,512
事業④	—	—	—	—	450,273	450,273
事業⑤	—	—	—	—	1,896,116	1,896,116
計	—	—	1,039,350	4,492,055	4,796,411	10,327,816

《事業への取り組みを振り返って》

安全安心まちづくり事業については 防犯ちらし(グッズ)の配付や防犯クイズキャンペーンの実施、主要道路への防犯カメラ設置などにより、防犯意識や環境の向上を図りました。

また、本地区は交通量が多いため、交通安全協会などのベスト・ジャンパーを更新し交通安全街頭啓発活動を行ったほか、自治会・交通安全協会・警察の協力のもと、地区内79か所に交通安全啓発看板を設置することにより、交通安全意識を向上することができました。



↑防犯クイズキャンペーンチラシ

↖通学路等での交通安全街頭啓発活動

←ベスト・交通安全啓発看板

地域交流活動支援事業については、地域の2大イベントである「ふれあい祭」「マス釣り大会」の備品を購入し、地域の交流活動を支援する計画でありましたが、令和2・3年度ともに、新型コロナウイルスの影響により開催することができませんでした。

来年度以降、積極的に活用し、地域への愛着をふかめられるような活動を実施していきます。



ふれあい祭り



マス釣り大会

学校と地域の交流応援事業については、石川小学校・池ノ森小学校・津田小学校において、櫓やお囃子の篠笛・締太鼓などの備品を購入しました。

石川小学校においては、新型コロナウイルスの影響により夏祭りを行うことができませんでしたが、地域住民と児童が設置した櫓にイルミネーションを点灯させる活動を行いました。「地域の賑わいづくりができたほか、児童との交流をふかめることができて楽しかった。」との声もありました。

池ノ森小学校では、購入した物品を使って、児童が地域住民から指導を受けながらのお囃子練習や農業体験活動を行うことにより、地域住民との交流を深めることができました。

津田小学校では、新型コロナウイルスの影響により、予定していた地域住民による「半田良平」学習会や高齢者との清掃活動は見送りとなりましたが、地域住民から指導を受けながらお囃子活動を行うなど地域との交流を図りました。



石川小



池ノ森小



津田小

地域助け合い事業については、反射ベスト、懐中電灯などの必要備品を購入し、地区の老人クラブが中心となり、行方不明者の初期捜索を行う組織「地域を守る絆の会」を発足させることができました。

また、地区福祉活動推進協議会が行っている「にこにこ弁当事業」においては、アルミ飯缶を購入することにより、一人暮らしなどの高齢者に衛生的にお弁当配達し、安否確認や交流を行うことにより地域の助け合いをより高めました。



購入したアルミ飯缶

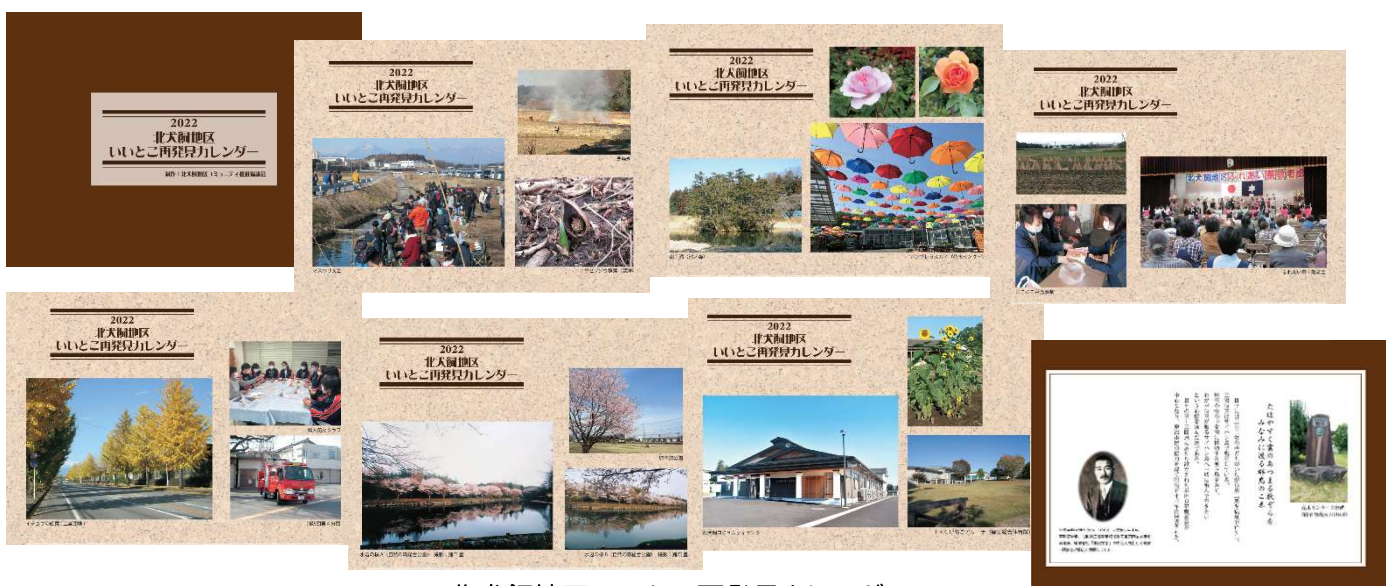


「地域を守る絆の会」のイメージ図

地域資源活用事業については、里山林整備事業として、「津田の里山を育てる会」を組織し、購入した自走式草刈り機やウィンチ、コンテナなどを活用しながら、約2.8ヘクタールの荒れた山林の再生に取り組んでいます。「後世によい里山を引き継ぐため、がんばっていきたい。」などの声もあり、子ども達の郷土愛が育ち、地域の人々の憩いの場となるような里山として活用することを目指しています。

また、北犬飼地区コミュニティ推進協議会においては、「北犬飼地区いいところ再発見カレンダー」フォトコンテストを開催し、地区の地域資源を被写体とした写真を募集しました。

さらに、その写真を用いたカレンダーを作製し配付することによって、北犬飼地区のPRを行いました。「(配付されたカレンダーをみて)北犬飼地区の良さを改めて再認識することができました。」との感想もいただきました。



北犬飼地区いいところ再発見カレンダー